

学校教育目標 知・徳・体 調和のとれた心豊かな子どもの育成 【よく考える子(知)・思いやりのある子(徳)・元気な子(体)】 分かる授業の創造に学校組織として努めることを通して、確かな学力とたくましく生きるための健康と体力の向上を図る。 教育活動の全てを通して豊かな心を育て、道徳的実践力を養うとともに基本的な生活習慣の確立を図る。 学校と家庭・地域との連携を図り、地域力の活用と信頼される学校づくりをめざす。	
目指す学校像(ビジョン) 子どもたちが学習に真剣に取り組む、自分を高める学校 子どもたちが体力・健康づくりに関心をもち努力する学校 学校と保護者や地域とに双方向のにぎわいのある学校	
子どもたちが思いやりの心をもった生活を耕す学校 教職員が組織として教育実践を積み上げ指導力を高めようとする学校 あいさつ・整理整頓・清掃活動の徹底した学校	

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		
				努力指標	成果指標	
学力・体力の向上	確かな学力とたくましく生きるための健康と体力を育てるために指導法の工夫改善を行う。	基礎的な内容が確実に定着するようにする。	週3回、帯タイムを実施し、言葉・漢字・計算の力をつける。	4 週3回の帯タイムの実施が90%以上	4 帯タイムで力がついたと思う児童が80%以上	
				3 週3回の帯タイムの実施が80%以上	3 帯タイムで力がついたと思う児童が70%以上	
				2 週3回の帯タイムの実施が70%以上	2 帯タイムで力がついたと思う児童が60%以上	
				1 週3回の帯タイムの実施が70%未満	1 帯タイムで力がついたと思う児童が60%未満	
			年間5回以上の作文の指導を行い、書く力をつける。	4 年間の作文指導が6回以上	4 作文の力がついたと思う児童が80%以上	
			3 年間の作文指導が5回	3 作文の力がついたと思う児童が70%以上		
			2 年間の作文指導が4回	2 作文の力がついたと思う児童が60%以上		
			1 年間の作文指導が4回未満	1 作文の力がついたと思う児童が60%未満		
		学習課題の明確化、主体的な学びの活動など、問題解決的な学習を創造する。	4 学習に対話を取り入れた日が90%以上	4 対話力が高まったと思う児童が80%以上		
			3 学習に対話を取り入れた日が80%以上	3 対話力が高まったと思う児童が70%以上		
	2 学習に対話を取り入れた日が70%以上	2 対話力が高まったと思う児童が60%以上				
	1 学習に対話を取り入れた日が70%未満	1 対話力が高まったと思う児童が60%未満				
努力事項に関する研修会を年間8回行い、目指す児童の育成と指導力の向上を図る。	4 努力事項に関する研修会の実施が8回以上	4 研修で学んだことを生かしたと思う教員が80%以上				
	3 努力事項に関する研修会の実施が7回	3 研修で学んだことを生かしたと思う教員が70%以上				
	2 努力事項に関する研修会の実施が6回	2 研修で学んだことを生かしたと思う教員が60%以上				
	1 努力事項に関する研修会の実施が6回未満	1 研修で学んだことを生かしたと思う教員が60%未満				
たくましく生きるための健康や体力を育成する。	「鉄棒」と「縄跳び」の種目を各3種目できるようにする。	4 がんばりカードを活用した「鉄棒」「縄跳び」の指導が月4回以上	4 「鉄棒」「縄跳び」が各3種目でできた児童が80%以上			
		3 がんばりカードを活用した「鉄棒」「縄跳び」の指導が月3回以上	3 「鉄棒」「縄跳び」が各2種目でできた児童が80%以上			
		2 がんばりカードを活用した「鉄棒」「縄跳び」の指導が月2回以上	2 「鉄棒」「縄跳び」が各1種目でできた児童が80%以上			
		1 がんばりカードを活用した「鉄棒」「縄跳び」の指導が月2回未満	1 「鉄棒」「縄跳び」のどちらかで1種目でできた児童が80%以上			
	給食を残さず食べるように指導する。	4 給食の残菜率が広島市平均より少ない	4 給食が好きな児童が80%以上			
		3 給食の残菜率が広島市平均と同程度	3 給食が好きな児童が70%以上			
		2 給食の残菜率が広島市平均より少し多い	2 給食が好きな児童が60%以上			
		1 給食の残菜率が広島市平均よりかなり多い	1 給食が好きな児童が60%未満			
豊かな人間性の育成	教育活動全体を通して、豊かな心を培うとともに、基本的な生活習慣の確立と道徳的実践力の育成に努める。	豊かな体験活動の充実を図り、心に響く道徳教育を展開する。	飼育栽培活動や体験活動を年間3回行い、生命尊重や自然愛護の心を育てる。	4 飼育栽培活動や体験活動の実施が年間4回以上	4 生命尊重や自然愛護の心が育ったと感じる児童が80%以上	
				3 飼育栽培活動や体験活動の実施が年間3回	3 生命尊重や自然愛護の心が育ったと感じる児童が70%以上	
				2 飼育栽培活動や体験活動の実施が年間2回	2 生命尊重や自然愛護の心が育ったと感じる児童が60%以上	
				1 飼育栽培活動や体験活動の実施が年間2回未満	1 生命尊重や自然愛護の心が育ったと感じる児童が60%未満	
			幼稚園や保育園、校内の異学年、地域の人々との交流を年間3回行い、思いやりや敬愛の心情を高める。	4 幼稚園や地域の人々などとの交流が年間4回以上	4 思いやりや敬愛の心が育ったと感じる児童が80%以上	
			3 幼稚園や地域の人々などとの交流が年間3回	3 思いやりや敬愛の心が育ったと感じる児童が70%以上		
			2 幼稚園や地域の人々などとの交流が年間2回	2 思いやりや敬愛の心が育ったと感じる児童が60%以上		
			1 幼稚園や地域の人々などとの交流が年間2回未満	1 思いやりや敬愛の心が育ったと感じる児童が60%未満		
			「心のノート」を年間10回活用し、自分のよさを見つけられるなどの「豊かな心」を育てる。	4 「心のノート」の年間活用回数が10回以上	4 自分のよさを見つけられた児童が80%以上	
				3 「心のノート」の年間活用回数が8回以上	3 自分のよさを見つけられた児童が70%以上	
		2 「心のノート」の年間活用回数が6回以上	2 自分のよさを見つけられた児童が60%以上			
		1 「心のノート」の年間活用回数が6回未満	1 自分のよさを見つけられた児童が60%未満			
	あいさつ・整理整頓・清掃活動を徹底する。	各学級や全体での指導や朝会での評価を繰り返すことにより、あいさつができる子どもを育てる。	4 朝の正門での指導回数が月4回以上	4 あいさつができていると思う児童が80%以上		
			3 朝の正門での指導回数が月3回以上	3 あいさつができていると思う児童が70%以上		
			2 朝の正門での指導回数が月2回以上	2 あいさつができていると思う児童が60%以上		
			1 朝の正門での指導回数が月2回未満	1 あいさつができていると思う児童が60%未満		
		各学級や全体での指導や朝会での評価を繰り返すことにより、自問清掃ができる子どもを育てる。	4 担任と全体での指導を合わせて週4回以上	4 自問清掃ができていると思う児童が80%以上		
			3 担任と全体での指導を合わせて週3回以上	3 自問清掃ができていると思う児童が70%以上		
			2 担任と全体での指導を合わせて週2回以上	2 自問清掃ができていると思う児童が60%以上		
			1 担任と全体での指導を合わせて週2回未満	1 自問清掃ができていると思う児童が60%未満		
	教職員の共通理解のもと、基本的な生活習慣の確立を図る。	各学級や全体での指導を繰り返し行い、赤白帽子と名札の着用ができる子どもを育てる。	4 朝の正門での指導回数が月4回以上	4 赤白帽子と名札の着用率が80%以上		
			3 朝の正門での指導回数が月3回以上	3 赤白帽子と名札の着用率が70%以上		
			2 朝の正門での指導回数が月2回以上	2 赤白帽子と名札の着用率が60%以上		
			1 朝の正門での指導回数が月2回未満	1 赤白帽子と名札の着用率が60%未満		
まちぐるみによる教育の推進	学校と家庭・地域との双方向の情報交換・連携を図り、地域の教育力の活用と開かれた学校づくりに努めるとともに、積極的に教育活動の説明を行う。	地域の人材・自然・施設の活用など、地域力を活用した授業づくりを行う。	各教科・総合的な学習の時間等で、地域の人材・自然・施設を活用した単元を年間を通して実施する。	4 地域の人材、自然等の活用が年間4回以上	4 意欲的に学習に取り組めた児童が80%以上	
				3 地域の人材、自然等の活用が年間3回以上	3 意欲的に学習に取り組めた児童が70%以上	
				2 地域の人材、自然等の活用が年間2回以上	2 意欲的に学習に取り組めた児童が60%以上	
				1 地域の人材、自然等の活用が年間2回未満	1 意欲的に学習に取り組めた児童が60%未満	
			教育実践を多面的な方法で発信する。	毎月、学校・学年でたよりを発行する。年間2回、教育実践等をホームページで発信する。	4 たよりやHPでの学校・学年の実践発信合計が25回以上	4 学校・学年の取組がよく分かると思う保護者が70%以上
				3 たよりやHPでの学校・学年の実践発信合計が23回以上	3 学校・学年の取組がよく分かると思う保護者が60%以上	
				2 たよりやHPでの学校・学年の実践発信合計が21回以上	2 学校・学年の取組がよく分かると思う保護者が50%以上	
				1 たよりやHPでの学校・学年の実践発信合計が21回未満	1 学校・学年の取組がよく分かると思う保護者が50%未満	
			教育情報を地域に公開する。	保護者に対して、学校経営計画やシラバスを配付・説明し、授業や行事を公開する。	4 授業や行事の公開回数が7回以上	4 授業や行事への保護者の参加率が70%以上
					3 授業や行事の公開回数が6回以上	3 授業や行事への保護者の参加率が60%以上
			2 授業や行事の公開回数が5回以上	2 授業や行事への保護者の参加率が50%以上		
			1 授業や行事の公開回数が5回未満	1 授業や行事への保護者の参加率が50%未満		